

労働市場における実データ・実験データを用いた行動経済学的分析

国際商経学部 黒川 博文

キーワード 行動経済学、労働経済学、経済実験、因果推論を用いた効果検証**研究概要**

行動経済学や労働経済学に関して、経済実験やアンケート調査等を用いた実証研究を行っている。近年の関心事は、働き方改革の効果検証である。例えば、提供を受けた人事データと独自アンケート調査を組み合わせて分析を行った。その結果、長時間労働をしやすい人は、子供のころ夏休みの宿題を後回しにしていた人や、他人を気にする人であることを明らかにした。また、残業の上限目標も残業時間削減に効果があることが同データから明らかにした。現在、どのような環境を整備すれば、女性も競争的環境に参加できるようになるかを経済実験を用いて検証を行っている。

**アピールポイント**

行動経済学会奨励賞、労働経済学コンファレンスポスターセッション優秀賞など受賞。実データおよび実験データによる因果推論を用いた研究を多数実施。また、行動経済学の活用に力点を置いた書籍を出版。経済学の知見を実務へ応用することに努めている。

応用分野

制度設計、制度変更の効果検証、人事データ分析